



星が丘中学校だより

第2号

令和3年5月28日
発行責任者 田中芳浩



ピンチをチャンスに変えて 創り出そう よりよい明日

新緑の候

新年度がスタートし、2か月が経ちました。1年生もずいぶん学校生活に慣れ、全学年とも落ち着いた学校生活が送れています。新型コロナウイルス感染症の影響は今年度も続いていますが、行事によっては活動を延期したり、タブレット端末を活用して実施したりと、中止にするのではなく、可能な方法を探りながら諸活動を実施しています。

日常の生活では、今まで同様、自分のために、大切な仲間や愛する家族を守るために、密を避け、「マスク・手洗い・ディスタンス」を徹底してまいりましょう。ご家庭におかれましてもよろしくお願いいたします。



春季宇河地区大会 5/7~15

各新型コロナウイルス感染症拡大防止ため、様々な制限が設けられる中ではありましたが、一昨年の人新大会以来の公式戦が開催されました。生徒たちにとっては、待ちに待った大会となり、各部とも夏の総合体育大会につながる戦いを見せてくれました。

野 球	1回戦 対晃陽 10-17 惜敗	バレーボール男子	予選リーグ 1勝1敗
サッカー 第3位：県出場	1回戦 対古里 2-0 勝利	6位 県出場	4~6位決定リーグ出場
	2回戦 対河内 0-0 (PK4-3) 勝利	バレーボール女子	予選リーグ 1勝1敗
	3回戦 対姿川 0-0 (PK4-3) 勝利	9~12位決定リーグ出場	
テニス男子	準決勝 対陽南 0-2 惜敗	バスケット男子	1回戦 対宮の原 49-45 勝利
	1回戦 対宇大附 0-3 惜敗	2回戦 対陽東 54-60 惜敗	代表決定戦 対一条 45-58 惜敗
テニス女子	個人 3回戦敗退	バスケット女子	1回戦 対国本 37-60 惜敗
	1回戦 対上河内 3-0 勝利	バドミントン男子	1回戦 対清原 惜敗
卓球男子	2回戦 対陽南 0-2 惜敗	個人S ベスト16 ②	
	個人 3回戦敗退	バドミントン女子	1回戦 対宇大附 惜敗
卓球女子	団体 予選リーグ 2位	個人S ベスト16 個人D ベスト16	
	決勝トーナメント 1回戦 対横川 惜敗	弓道男子	予選敗退
剣道男子	個人 3回戦敗退	個人 県出場	
	1回戦 対横川 勝利	弓道女子	予選敗退
剣道女子	2回戦 対宮の原 1-3 惜敗	個人 県出場ならず	
	個人 ベスト16 県出場	柔道男子※	予選リーグ 1勝2敗 惜敗
陸上競技※	1回戦 対一条 勝利	個人 優勝・準優勝 県出場	
	2回戦 対宮の原 0-2 惜敗	個人 県出場ならず	
	個人 3回戦敗退		※印は、大会のみの参加となっているものです。

生徒総会 5/12

本来ならば、全生徒が体育館に集合し、直接審議をし、採決を行う生徒総会ではありますが、今年度は、タブレット端末を使用して、教室の自席での総会となりました。執行部役員や各専門委員長は、被服室で議案について説明や、質問に対する答弁を行い、その様子を視聴しました。最後に、生徒一人ひとりが自分のパソコンで賛否を表明しました。



新体力テスト 5/18

各学年2時間ずつ設定し、新体力テストを行いました。昨年より好結果が出たでしょうか。一人一人が、結果を見て、自身の補強すべきところを日頃から意識して運動していきましょう。



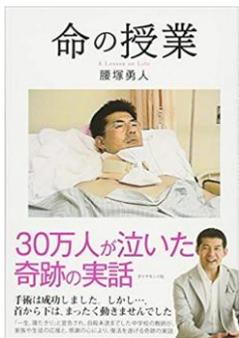
避難訓練 5/26

全校生が一堂に集まる今年度最初の校内行事であり、地震により給食

室からの出火を想定し実施しました。全校生徒の避難完了が4分4秒ということで、素早い非難ができました。近年、様々な自然災害が各地でみられ、いつ遭遇するか分かりません。自分の身は自分で守れるよう、一人一人がしっかりと想定しておくこと、また、ご家族でも万が一を想定し、互いが連絡を取り合う方法や集合場所等を話し合っておくことも必要だと思います。



優しさと思いやりのあふれる学校



書籍「命の授業」の著者である腰塚隼人さんの話で、ご存じの方も多いたと思いますが、私自身、とても感銘を受けたので紹介します。

著者は、1965年生まれ、熱血の体育教師。しかし、2002年3月、得意としていたスキーで転倒し首を骨折。転倒直後、首から下が全く動かなくなり、病院に運ばれた際に、「一生寝たきりか、よくて車イスの生活になる」と言われました。手術は成功しましたが、1週間たっても首から下は全く動きません。のどには管が入り、しゃべることもできません。周囲から「頑張って」と言われましたが、もう十分に頑張っていて、これ以上頑張れませんでした。しかし、周りで支えてくれる人たちや事故や病気で亡くなった友達の存在があり、「彼らの分まで生きる」と考えられるようになったとき、現実を受け入れ、いつも笑顔でいると決めました。そうしたら、全く動かなかった手足がだんだん動き始めました。そして、「必ず、先生として学校に戻る」と決めました。立ち上がり歩ける喜び。しゃべれる喜び。字が書いてお箸が使える喜び。当たり前と思っていたことに、幸せと感謝を見つけました。そして4か月後、右半身がうまく動きませんでしたが、学校に戻ることができました。その際に左記の5つの誓いを立てました。

- 1、「口」は、人を励ます言葉や感謝の言葉をいうために使おう。
- 2、「耳」は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう。
- 3、「目」は、人のよいところを見るために使おう。
- 4、「手足」は、人を助けるために使おう。
- 5、「心」は、人の痛みがわかるために使おう。

令和の時代が始まり3年目に入りますが、「令和」には「人々が美しく心を寄せ合う」という意味があるといえます。具体的には、これらの5つの誓いのような気持ちで周囲の人と接することではないかと思います。人の悪口を

言わず、仲間外れにすることもなく、人のよいところに目を向け、思いやりの心をもって接すること。そして、多くの仲間と力を合わせて、さらに優しさと思いやりのあふれる星が丘中学校にしていきたいと思います。

【お知らせ】

令和3年度 教科書展示会の開催について

教科書展示会は、教育関係者のみならず、一般公開を通じて、地域住民等の多くの方々に認識の機会を提供し、教科書に対する関心を高めることを目的に毎年開催されます。

- 1 日時 令和3年6月11日(金)～7月2日(金) 午前9時～午後5時
ただし、土曜日・日曜日は展示をおこないません。
- 2 会場 栃木県庁河内庁舎B棟研修室

